

梅木加津子議員



一問一答方式

- ①大洲市総合計画の見直し
- ②肱川水系河川整備計画(変更)
- ③新型コロナウイルス感染症対策
- ④消防団員の出勤報酬等
- ⑤バイオマス発電等

大洲市総合計画の見直しについて

問 歴史的資源活用事業が立ち止まることなく進められている。

答 事業を進めるキタ・マネジメントの代表理事が市長から伊予銀行の方に代わったがその理由は。

一般社団法人キタ・マネジメントは、本市の観光戦略を推進する地域DMOとして、市が団体の基金を100%出資し、平成30年8月

に組成しました。設立当初は、組織への理解度向上や歴史的資源活用事業をはじめとした主要事業の周知等を重点的に進めていくために市長がその代表を務め、地域住民や関係団体との合意形成を図ってきました。

一方で、現在、古民家活用事業も3期目となり、地域DMOとして地域の観光地経営に向けた基盤を強化し、民間事業者との経済的連携を強めていく必要がある時期に入ったとの判断から、経営に関する専門的な知識にたけ、公益的にかつ幅広い業種にわたって関係団体との豊かなつながりを持つ人材に就任いただいたもので、市長は引き続き同法人の理事として組織の運営に関与していきます。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 当初の個別接種から集団接種に変わったが、その理由は。

答 当初は3月議会で答弁したとおり、通い慣れた医療機関でかかりつけ医が接種する個別接種を検討していましたが、その後、喜多医師会と協議を進める中で、ワクチンのロスができるだけ少なくできるこ

と、重篤な副反応が発生した場合に複数の医師で対応できること、効率的に多くの人に接種ができることなど、個別接種よりもメリットが大きいとの判断で集団接種に切り替えたものです。

旧自治体単位の接種会場を設置することも検討しましたが、接種に従事する人員の確保など接種体制の構築が困難だったため、現在の3か所を接種会場として、長浜・肱川地域はシャトルバスを運行し対応することにしました。

消防団員の出勤報酬等について

問 消防団員の出勤報酬の概要をお聞きます。

答 消防団は地域の消防防災体制の中核的役割を果たす重要な存在ですが、全国の消防団員は2年連続で1万人以上減少という危機的な状況です。本市でも機能別団員の拡充で、5月1日現在の実団員数は昨年同月と比べ21人増加し1,429人となっていますが、定数1,603人にはまだまだ足りていません。

消防庁では消防団員の減少に歯止めをかけるため、消防団員の処遇等

に関する検討会の中間報告を踏まえ、年額報酬・出勤手当の基準の策定、報酬等の団員個人への直接支給の徹底、運営費の適切な計上など、消防団の処遇改善へ取り組むべき事項や留意事項を公表しました。その中で、1日当たりの出勤手当額は8千円、団員の階級にある者の報酬年額は3万6,500円を標準としています。現在、本市では、出勤1件につき費用弁償として出勤手当2,500円、階級にある者は年額報酬2万5千円を支給しています。

今回の中間報告を受け、出勤手当、団員報酬の見直し、団員への支給方法等、近隣自治体の状況も踏まえ検討する予定です。

出勤手当支給の最近の事例では、行方不明者の捜索依頼があり、前日の夜に各団員へ翌朝の出勤命令が出ましたが、翌朝、捜索開始前に警察署員が行方不明者を発見しました。この事例では、既に集合場所に到達していた団員、出勤途中であった団員は、出勤人員として報告があり手当を支給します。